

ICT産業WG中間とりまとめ素案(第5回会合配付資料)
 についての構成員意見

	意見内容
意見	<p style="text-align: center;">- 2 - (2) 官民の適切な役割分担 (P 3) について</p> <p>ユビキタスネット社会の構築こそ、官民が連携して行わなければならない重要施策であり、「ユビキタスネット社会の構築は民間主導で進められるべき・・・」という表現では、官の本施策への関与があまり積極的ではないように読み取れる。そこで、「官民の連携で推進し、民間は新規サービス創出・確立・普及・連携、またそれらに必要な研究開発を、官は過度な関与は慎みながら、民間が実施するにはリスクの高い分野の支援を。」という表現にしてはどうか。</p>
意見	<p>中間とりまとめ(OHP版)にある、ユビキタスネット社会の実現目的に対応した部分の文章化が必要ではないか。より便利で楽しい社会とともに、緊急災害時への即応や心が豊かになる社会の実現など、夢のあるユビキタスネット社会を描くことが不可欠である。娯楽やアニメなどのコンテンツの記述の他、「報道」、「教養・教育」を含めて、必要不可欠なシステムであることのアピールとより文化的な観点からの内容を充実する必要がある。</p> <p>今後の議論とも関連するが、- 2 - (2) 官民の適切な役割分担 (P 3) について踏み込んだ記述が必要。特に国の支援と産業の連携が重要である。例えば過疎地域におけるユビキタスネット社会の実現や緊急災害時のサービスなど、ビジネスモデルとして成立たない部分への国の支援は必須である。災害は、いつでもどこでもだれに対しても起こりうるものであり、ユビキタスネット社会の実現により、はじめて対応が可能となる。また安全・安心の社会を実現するための基幹部分である。</p> <p>ユビキタスネット社会の中で、家庭における情報の核となる端末としてデジタルテレビが期待されている。薄型テレビを中心としたデジタルテレビが家庭のよりどころとなり、豊かな情報環境の構築が可能である。ICT産業活性化の基本シナリオの一つと考える。</p> <p>利用環境WGで議論されているユビキタスネット社会の影の部分を解決することが重要である。法整備など制度的な対策とともに、技術的な開発支援が不可欠である。今後の本WGでの議論のポイントでもあり、充実した記述が必要である。</p>

意見	<p>- 1 高度 I C T 人材の育成 (P 10) の項目立てを以下のようにしてはどうか。</p> <p>(1) 企業のニーズを踏まえた戦略的な I C T 人材育成</p> <p>(2) I C T 育成を促進する高等教育機関の改革 (専門職大学院支援によるトップダウン的な大学・専門学校も含めた高等教育機関における I C T 人材育成改革等を記述)</p> <p>(3) 想像性豊かな高度 I C T 人材の育成</p> <p>(4) 高度 I C T 人材による国際分業体制の確立 (高度 (= 上流工程、先進技術) な部分の人材は国内で調達し下流、製造技術で必要な人材は国外で調達すること等を記述)</p>
----	---